

森のおくりもの 2月



アカネズミ（ネズミ科）



写真：黒川周子（レンジャー）

昨年の2月号に「森には積雪がなく」と書いた直後に記録的な大雪となりおどろきました。ですので、今年についても何とも言えない状況ではありますが、少なくとも、この寒さはまだまだ続きそうです。しかし、こんな中でも自然観察センターの室内からはたくさんの野鳥を見ることができ、また、森の中ではいろいろな野生動物の足跡を見ることができます。そんな自然とともに皆様のご来園をお待ちしております。 （館長 菊池正行）

森の王者

オオタカ（大鷹・蒼鷹）

同じ鳥の仲間（観察の森ではヒヨドリやキジバト、シロハラなどの羽が散らばっていることがあります。）を狩り、食べて生きる、食物連鎖の一番頂点にいるオオタカ。このオオタカが生きるためには、エサとなる小鳥、またそのエサとなる昆虫が豊富にいないはいけません。その為、自然のバロメーターとして扱われることがあります。

猛禽類というとトビを連想し、サイズが「大きい」と思われる方がいますが、オオタカはカラスと同じぐらいの大きさです（メスはオスより一回り大きい）。しかし、巣はカラスとは比べ物にならないくらい大きく、立派な巣です。アカマツなどの針葉樹に枝を積み上げて巣を架けることが多いです。

2月は巣作りの季節。空を見上げてみると、枝を運んでいる所や、ディスプレイフライト（波状飛行・旋回・上昇・急降下を繰り返す求愛行動）が見られるかもしれませんよ。巣材運びは、ヒナが巣立つまで続きます。



【直径約90cmくらい】



●眉斑は白くて目立つ

●昔、鷹狩に使われ、全国ブランドとなっていた伊達領の鷹

●若鳥は、胸の模様が縦斑で、背面が褐色

●強力な脚で、キジやカモ類等の野鳥やノウサギだつて捕獲できちゃう

【全長：♂約50cm ♀約58cm】

【翼開長：約100-130cm】

【体重：♂約590-810g ♀900-1210g】

♪キツキツキツ

飛び方を見てみよう



●尾羽の先は丸みをおびる。

- 飛び方は、羽ばたきと滑空を繰り返して飛びます。（パタパタ→ピュー→パタパタ→ピューといったかんじ）
- 飛ぶ速さは時速80km。急降下するときは時速130kmにも達します。
- ハイタカに似ていますが、尾羽に丸みがあることと、頭が大きいことで区別できます。

【レンジャー：黒川周子】

*名前の由来：奈良時代には「あおたか」、平安時代から「おほたか」と呼ばれたものが今日のオオタカになった。鷹は成長するのに2～3年かかり、一歳鷹は「黄鷹（わかたか）」、二歳鷹は「撫鷹（かたかへり）」、三歳鷹は「蒼鷹（あをたか）」と呼んだ。

2月の生物ごよみ

観察の森周辺でみることができる野鳥たち③

3ヶ月にわたって紹介した野鳥たちも今月で最終回。皆さんはどんな野鳥たちと出会うことができましたか？

名前	大きさ / 季節	特徴	出会い度
 アカハラ	24cm / 漂鳥	胸のわき腹がオレンジ色なのが特徴。毎年センター裏のエサ台にやってくるが単独でしか確認されていない。	C
 アオジ	16cm / 漂鳥	暗めの藪が好きでよくセンター裏の餌台にもやってくる。他の小鳥がいなくなっても夕方遅くまで餌をさがしに来る。	B
 ヒヨドリ	28cm / 留鳥	センター周辺では年中みることができるが、渡りをしているものもいるようだ。そのあたりは謎。餌台にも頻りにやってくるが、他の鳥たちを蹴散らし、餌を独占したいようだ。	S
 ホオジロ	17cm / 留鳥	明るい林が好きな鳥。みはらしの良い木の上でよくさえずっている。「一筆啓上仕り候」などとききなされる。地泣きは『チチチッ』と2、3回つづけて鳴く。	C
 カワラヒワ	15cm / 留鳥	数羽の群れで行動する。餌台にもよく現れる。ペンチのような嘴でひまわりの種などをバリバリと噛み砕いて食べる。	B
 マヒワ	12cm / 冬鳥	十数羽から数百羽の群れで行動する。ハンノキの種子が好物で群れで食べていることがある。	C
 ミソサザイ	11cm / 漂鳥	キクイタダキと共に最少種のひとつ。雄雌同色。春先は複雑な早口でさえずる。短い尾羽を立てるのも特徴。	D

【レンジャー：齋 正宏】

※冬鳥 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。

※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。

※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。

※出会い度 高いS→A→B→C→D低い

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思います。

はっけんメモ その9

『峠で出会えるおしゃれなシダ？ ～トウゲシバ～』

そろそろ立春。暦の上では春が近づいてきました。陽射しも心なしか春めいきたように感じられますが、植物の芽吹きはまだまだ先になりそうです。とは言っても冬枯れの森の中、無意識に緑色を探してしまいます。



シシガシラ（獅子頭）

寒いこの時期でも緑色を保っているのは、イヌツゲやヤブツバキといった常緑樹、スギ、ヒノキ等の針葉樹、それから、春咲きの草や多年草等が多いようです。

でも、森の中をよっく観察してみると…日陰にひっそり

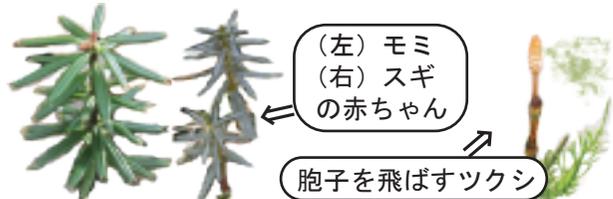
【シダ（羊歯）植物】が青々と茂っています。

トウゲシバ（峠芝）



トウゲシバのむかご部分

シダ植物といえば、ワラビやクサソテツ（こごみ）のように鳥の羽のような形をした葉が印象的です。しかし、ちょっと変わった姿をしている種類も多数存在します。右の写真はトウゲシバ（峠芝）という名前のシダ。一見、小さな針葉樹のような姿のため見逃しがちです。薄日の差す日陰が好みのように観察の森では、スギ・ヒノキ林の下で見かけます。



（左）モミ
（右）スギ
の赤ちゃん

胞子を飛ばすツクシ

普通シダは胞子で増えますが、トウゲシバはむかごで増えることの方が多いそうです。よく数本のかたまりになって生えているのを見かけるのは、むかごで増えるからでしょうか。【レンジャー：河合 遥】



新人レンジャーの巡回日記



2月になり、1年の中で最も寒い時期に入りましたが、自然観察の森では、枝先に冬芽を付けて静かに春の訪れを待ついろいろな植物や、雪が降った後には、動物の足跡等を観察することが出来ます。そんな中、いち早く春を感じさせる物を見つけることができたので、今回は、そのことについてご紹介します。



まだ咲き始めですが、
もう少しすると



こんな感じになるので
しょうか？

冬の静かな森の中で、オニグルミのヒツジや、キハダのピエロ等、いろいろな木々の冬芽の表情や木にぶら下がっている繭、動物や鳥の巣等、冬ならではの森を楽しみながらの巡回中に、尾根道で、ふと目につく枝先の黄色が・・・そうです、他の花よりも早く咲き出すことから「まず咲く、まんさく」と呼ばれるようになったという説のあるマンサクの花が早くも咲き始めていました。今は、まだ枝先にリボンのような花びらが少しついている感じですが、もう少し日が経つと、もう一つの説の「豊年満作」のように、たくさんの花を咲かせてくれると思いますので、一足先の春の雰囲気みなさん是非、自然観察の森で感じてください。

イベントの報告



1月25日（日）「草木染め体験」のイベントが行われました。今回は、オオハンゴンソウの葉（乾燥した物）を砕いたり、イチイの木の皮を剥がしたりした物を煮詰めて染料を取り出すことから始まりました。その後は、ビー玉や割り箸を輪ゴムで縛り付けた布を染料に漬け込むことと媒染を数回繰り返し行って草木染めを完成させました。出来上がった作品は、どれもきれいな色と模様になりました。参加者のみなさんは、真剣に取り組みながらも終始沸き合い合いの雰囲気で、楽しく盛り上がったイベントとなりました。※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、「イベントのお知らせ」でご確認下さい。

【レンジャー：鷺 千尋】

2月のイベント & お知らせ

◆「木の実でつくる、ひな飾り」

・森にある素材を使って、おひなさまのかざりを作ります。

日時：2月21日（土）午前10時～11時30分

持ち物：汚れても良い服装で

定員：10名〔先着〕 申込み：2月6日（金）午前9時より電話で



3月開催!

◆「森の講話会～里山の動物とひとのかかわり～」

・野生動物の専門家に里山に暮らす”動物”と”ひと”の関係を教えてもらいます。

日時：3月21日（土）午後13:30～15:30

定員：40名〔先着〕 申込み：3月6日（金）午前9時より電話で

◆「小鳥のレストラン」を開いています！ 3月31日（火）まで。

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。

◆12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

・冬季（12月から3月まで）は午前10:00～11:30のみの開催となります。お間違いのないようお越し下さい。

毎週日曜は『ガイドウォーク』の日！

2月の開催日は
1日、8日、15日、22日です。

開催時間：午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよ！！

2月の休館日

2日、9日、
16日、23日



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



スタッフBLOG開始しました！
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2015年2月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL：022-244-6115 FAX：022-244-6133

E-mail：taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp